

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年3月8日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 8 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	試料採取系第2給水加熱器出口(A及びC)サンプル採取弁において、シートリークが認められたため、当該弁を点検補修。	D	
2	2号機	制御棒駆動機構交換機プラットフォーム旋回用ウォーム減速機において、油の滴下が認められたため、当該減速機を点検補修。	C	
3	3号機	所内電源設備パワーセンター予備の仮設電源復旧において、補機冷却海水ポンプ(C)トリップ及びタービン補機冷却水ポンプ(C)故障が発生したため、対応検討。	C	
4	3号機	復水ポンプ(A)シール水流量計用フレキシブル電線管において、破損が認められたため、当該電線管を交換。	D	
5	3号機	原子炉建屋給気ファン(C)グラビティーダンパー駆動部において、ボルトに破損が認められたため、当該ボルトを交換。	C	
6	3号機	中央制御室空冷コンデンサーファン制御盤のリレー状態確認において、リレーカバーを落下・破損させたため、当該カバーを修理。	D	
7	3号機	配管肉厚測定検査(その1)において、検査要領書の公称肉厚及び判定基準厚さ並びに検査成績書の余寿命に誤記が認められたため、対応検討。	C	
8	その他	1号機(17回及び20回)定期事業者検査要領書件名において、誤記(4件)が認められたため、対応検討。	B	H22.4.20再審議にてグレード変更「C」→「B」

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉の停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講ずることとしております。

* 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- A_S : 法令、安全協定に基づく報告事象
: プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
: 定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた事象
: 運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・行政広報グループ
電話 0240-30-7802